



特定非営利活動法人 LPII-Japanのご紹介

2015年3月

理事 池田 秀一

LPI-Japanとは

中立的な立場から日本のITプロフェッショナルの価値向上に貢献

Linuxをはじめとする「LPI(Linux Professional Institute)-Japan」(本部：カナダ)は、Linux/OSS技術者のスキル認定制度「**LPIC**」や「**OSS-DB Exam**」に加えて、次世代Web標準「HTML5」のスキル認定制度である「**HTML5プロフェッショナル認定制度**」などの、ITプロフェッショナルの技術力や知識の認定制度を**中立公正かつ厳正に**運営することを通じて、日本におけるITプロフェッショナルの育成、さらにはOSS/Linux/Webビジネスの促進に寄与する活動を展開しているNPO法人です。

主な活動資金はLPIの活動に賛同する企業や団体からの寄付金に支えられています。

また、LPI-Japanは、OSS/Linuxなどの技術力を中立公正な立場で認定する活動を通じ、下記のことを行っています。

- 1) 日本のITプロフェッショナルの技術力を高める。
- 2) 日本のITプロフェッショナルをオープンソースの世界に導き、
能動的な貢献を前提とする世界で活躍出来るようにする。
- 3) 日本の経営者のオープンソースムーブメントに対する理解を深める。

組織概要

名称	特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
設立	2000年（平成12年）7月28日
所在地	〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9 CR神谷町ビル 7FF
連絡先	TEL : 03-3568-4482 / FAX : 03-3568-4483 e-mail : info@lpi.or.jp
URL	http://www.lpi.or.jp/ (LPIC) http://www.oss-db.jp/ (OSS-DB) http://html5exam.jp/ (HTML5)

アクセス 東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 1番出口 徒歩3分



理事

成井 弦（理事長）

鈴木 敦夫	NECソフト株式会社
高橋 千恵子	日本電気株式会社
鈴木 友峰	株式会社日立製作所
橋本 尚	株式会社日立製作所
福地 正夫	富士通株式会社
中野 正彦	ミラクル・リナックス株式会社
池田 秀一	アイティメーカーズ株式会社
丸茂 晴晃	横河電機株式会社

監事

寺本 振透 九州大学 大学院法学研究員教授

参加团体

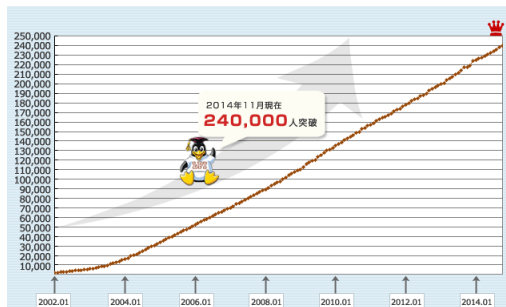
Linux Foundation
日本リヌックス協会
全国専門学校情報教育協会
社団法人コンピュータソフトウェア協会
MIJS（メイドインジャパン ソフトウェア コンソーシアム）
国際経営者協会
一般社団法人価値創造フォーラム21
ICT教育推進協議会
日本PostgreSQLユーザ会
PostgreSQLエンタープライズ・コンソーシアム
オープンソースビジネス推進協議会

Globalな活動拠点



世界にLPIの拠点を置き、オープンソースの普及・啓蒙活動を展開しています。

LPI-Japanが運営する3つの資格



Linux技術者認定試験

「LPIC（エルピック）」は、NPO法人/Linux技術者認定機関「LPI（エルピーアイ）」（本部：カナダ）が実施している**世界共通・世界最大・最高品質**の「Linux技術者認定制度」です。世界で通用するIT資格として、150カ国以上、50万人以上の方々に受験されています。LPICには3段階のレベルがあり、順次ステップアップしていく認定構成になっています。



OSS-DB技術者認定試験

オープンソースデータベース（OSS-DB）に関する技術力と知識を、公平かつ厳正に、中立的な立場で認定するIT技術者認定資格です。本試験はOSS-DBのなかでも、特に商用データベースとの連携に優れ、エンタープライズ・システムでも多く活用されている「PostgreSQL 9.0以上」を基準のRDBMSとして採用しています。本認定制度には「Silver」と「Gold」の2つのレベルがあります。



HTML5プロフェッショナル認定試験

HTML5, CSS3, Javascriptなど最新のマークアップに関する技術力と知識を、公平かつ厳正に、中立的な立場で認定する認定資格です。本認定制度には「Level.1」と「Level.2」の2つのレベルがあります。



LPI-Japanの3つのパートナーシップ



プラチナスポンサー制度

LPI-Japanの活動に参画することにより、

Linux/OSS人材の育成 Linux/OSS市場の活性化

に深く貢献している企業として認知度を高める事ができるプログラムです。
LPI-Japanのプラチナスポンサーとして、メインフレームメーカー、Linuxディストリビューション、ソフトウェア開発、人材派遣など、様々な分野の企業様に参画していただいています。



ビジネスパートナー制度

システム開発企業、Sier、ソフトウェアベンダーなどの企業を対象としたパートナー制度です。

ご参加頂くことにより、Linux/OSSマーケットの活性化に深く貢献している企業として広く周知することができる制度です。

LPI-Japanの活動を介してLinux/OSSマーケットの拡大に貢献している積極的な取り組みの企業として評価を高める効果が期待できます。

LPI-Japanの広告・広報活動を通して、企業名の露出が期待できます。



アカデミック認定校制度

IT教育機関と一体となって、教育の活性化とオープンソースの普及を目指すためのプログラムです。これはLPI-Japanが独自に定めた学習環境基準をクリアした大学・専門学校・PCスクール・企業研修機関等を、LPI-Japan認定校に指定させていただき、LPIC、OSS-DB、HTML5プロフェッショナル認定試験の合格を目指す受験者に、質の高いLinux教育を提供することを目的としています。

- ・インストラクター勉強会への参加
 - ・受験料割引
 - ・試験に関する最新情報の提供
- などの特典が受けられます

LPI-Japan プラチナスポンサー

21社（2015年2月現在）



LPI-Japan ビジネスパートナー

57社（2015年2月現在）

- デル株式会社
- 株式会社アルク
- 株式会社HTKエンジニアリング
- オープンソース・ソリューション・テクノロジー株式会社
- 日本ヒューレット・パカード株式会社
- SRA OSS, Inc. 日本支社
- メイド・イン・ジャパン・ソフトウェア・コンソーシアム
- ノベル株式会社
- ユニアデックス株式会社
- 株式会社テイクス
- ジスクソフト株式会社
- 株式会社マリノ
- 株式会社プログデンス
- オリゾンシステムズ株式会社
- The Linux Foundation
- 日本システムウェア株式会社
- 株式会社NTTドコモ
- 株式会社リプラス
- メディアスケッチ株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社ユー・エス・エル
- Ping-t 【学習サイト】

- サイオステクノロジー株式会社
- エンタープライズDB株式会社
- さくらインターネット株式会社
- 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
- 株式会社ホロンテクノロジー
- GMOインターネット株式会社



- 株式会社GFD
- ファーマーシステム株式会社
- TIS株式会社
- 株式会社スカイアーチネットワークス
- 株式会社CIJネクスト
- 株式会社メトロシステムズ
- カチシステムプロダクツ株式会社
- ハマゴムエイコム株式会社
- 株式会社リナックス・ネットワーク
- 株式会社ヒューマン インタラクティブテクノロジー

- トレンドワークス株式会社
- テクノバン株式会社
- 株式会社コーソル
- 株式会社インフォメーションポート
- 株式会社BFT
- 株式会社ネットケアサービス
- 株式会社コンバージョン
- 株式会社リクルートキャリア/CodeIQ
- 株式会社アイオーアーキテクト
- 株式会社エムキューブ・プラスハート
- シェアードシステム株式会社
- Hinemos（株式会社エヌ・ティ・ティ・データ）
- 株式会社ITPM
- 株式会社オージス総研
- テンプスタッフ・テクノロジー株式会社
- シンタイギ株式会社
- 東京デザインプレックス研究所
- 株式会社ネオジャパン
- 株式会社ウィットシス

LPI-Japan LPICアカデミック認定校

53校56拠点（2015年2月現在）

**リカレント
リナックスアカデミー**

WEB・プログラム・ネットワーク・OA・資格取得
KENスクール

HITACHI

パナソニックソリューションテクノロジー
株式会社

Knowledge Design

日本電子専門学校

IT@School

プロネッツ教育研究所
PRONETS LEARNING INSTITUTE

isaPCスクール

DHT
Digital Huge Technology

NEC
NECネットエスアイ

麻生専門学校グループ
Design your future 夢を叶えてこころ 自分の実現
ASOBUSINESS COMPUTER FUKUOKA COLLEGE
麻生情報ビジネス専門学校 福岡校

AxiZ
Academy extend IT skill Zero

学校法人 日本コンピュータ学園
東北電子専門学校

日本工学院

INTERNET
ACADEMY

NEC
NECマネジメントパートナー

Soft Campus



株式会社 エlement

JJS+plus
New Style Neo Alive

ZEUS
LP

Motivational Engineer
CLINKS

医療ビジネス観光情報専門学校

ilcc
Nagasaki Career Center

kbc
国際電子ビジネス専門学校

ECCコンピュータ専門学校

MEGA
株式会社 メガ・テクノロジー
Mega Technology

Nihon
Office
Automation
Research Co.,LTD

学校法人 河合塾学園
TRIDENT
コンピュータ専門学校

ROSS Plus One

NAGOYA
Linux School

SkillBrain
スキルブレイン

株式会社 ケイ・シー・シー

hp

株式会社 富士通ラーニングメディア

KOANKEISO

VSN

XPI

SMART VALUE
Innovation for Justice.

KACHI
SYSTEMPRODUCTS

Japan Learning
ジャパラーニング株式会社

青山学院大学

@5
TSE Inc.

nkc 名古屋工学院専門学校

駿台
SUNDAI COMPUTER &
BUSINESS COLLEGE
駿台電子情報&ビジネス専門学校

GOOYA

D.I. System

Winスクール

TOKYO
ELECTRONICS
COLLEGE
TEC

琉球大学

琉球大学

LPI-JAPAN
Linux Professional Institute Japan

LPI-Japan OSS-DBアカデミック認定校

14校14拠点（2015年2月現在）

Recurrent
リカレント
リナックスアカデミー

 **SRA OSS, INC.**

DHT
Digital Huge Technology

NEC
NECマネジメントパートナー


NGN
Staff and Support Function for NGN


学校法人 電子学園
日本電子専門学校

OSS-DB
LPI-Japan
Approved
Training Partner


ZEUS LP

アシスト


AxiZ
Academy eXtend IT skill Zero

 **NTTソフトウェア**

 **株式会社 メトロシステムズ**

 **KACHI**
SYSTEM PRODUCTS



麻生専門学校グループ
Design your future 想像してごらん 自分の未来を
麻生情報ビジネス専門学校 福岡校
ASO BUSINESS COMPUTER FUKUOKA COLLEGE

 **LPI-JAPAN**
Linux Professional Institute Japan

LPI-Japan HTML5アカデミック認定校 14校15拠点 (2015年2月現在)



啓蒙活動

～イベントへの出展

オープンソースカンファレンス、Linux Con、db tech showcasなど、OSS/Linux関連のセミナーに多数出展し、OSS活用のメリット、技術力を身につけることのメリット、資格取得の有用性を訴求。

学習に役立つ書籍類なども展示し、パートナー団体様と共に、ブースにご来場の皆様にOSSを啓蒙。



オープンソースカンファレンス/ブース出展



クラウドコンピューティングEXPO春/ブース出展



DB tech showcase ブース出展と講演



啓蒙活動 ～企業様、学校法人様への講演活動

「オープンソースムーブメントが創り出す新たなビジネスモデル ～差別化のみが生きる道～」と題して、年間80以上の企業様、団体様、学校法人様などに、理事長成井による講演をご依頼いただき、実施しております。社内・団体においての啓蒙活動、人材育成、学生様の学習意欲の向上にお役立ていただいております。

実施エリア： 講演をご依頼いただいた場所、全国各地。

講師： LPI-Japan理事長 成井弦

所要時間： 1.5～2時間程度

参加者数： 制限なし

費用： 何度でも無料

講演概要例：

日本でも、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェア（OSS）は非常に多くの分野で使用されるようになりました。

しかし、OSSの開発方式を含む、オープンソースムーブメント(OSM)が創り出した 新たなビジネスモデルに関する理解度は非常に低い現状です。スマホ市場に於ける日本企業の低迷もこの新たなビジネスモデルに関する理解度不足が 一つの原因と言えると思います。

講演ではOSMが創りだ出した新たなビジネスモデルが如何に世の中を変えつつあるのかを、多くの事例を含めて、説明致します。



啓蒙活動 ～学生へのLinux/OSS寄附講座

将来の日本のIT技術を支える人財の育成や、地域におけるLinux技術の継承・普及に貢献するため、中学・高校・高専・専門学校・大学などにおいて、Linuxの体験講座を無償で実施。

実施先学校： 千葉商業高等学校、北海道旭川工業高等学校など

講師： ボランティア講師

協力団体： NPO法人 ITジュニア育成交流協会、翔泳社

内容：

① 講義パート

(LinuxやOSSに「興味、関心」を示させることをGOALとする)

OSSやLinuxについて、歴史や特長、また実際に使われている事例などを、高校生の身近なテーマに沿って講義する。

② 実習パート：(無理の無い範囲で、生徒の「達成感創出」を目指す)

実習内容

各人に与えられたPCにLinuxをインストール、ネットワークの設定
OSS-DBをインストール、操作 (PostgreSQL)
サーバを立てて動かす など

Linuxのインストールは完了！
さあネットワークを設定してみよう！



インストールキットの格納場所を教えているところです



生徒同士で
教え合いながらの
実機 (ハンズオン) 演習

トラブルも学習のうち

紅一点の女子生徒さんも
がんばっています！



先生もがんばってます

啓蒙活動 ～参加無料の技術セミナー開催

Linux、OSS-DB、HTML5の学習を始めたいけど、どこから始めればいいのかわからない、勉強のコツがつかめない、そんな方を対象に、毎月2～4回(年間合計40回以上)各技術のポイント解説セミナーを実施。

実施エリア： 主に東京。大阪年間数回実施。その他全国の主要拠点にて数回実施

講師： LPI-Japanアカデミック認定校講師など

所要時間： 3時間

参加者数： 毎回80～150名程度

内容： 各試験の中から、つまずきやすいポイント、なかなか理解が進まないポイントなどをデモを使いながらわかりやすく解説しています。



啓蒙活動

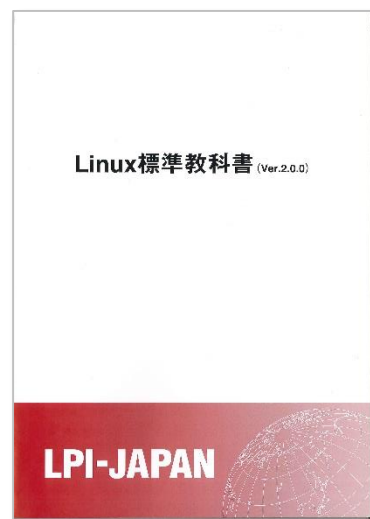
～無償教材の開発・提供

Linux/OSS技術者教育に利用していただくことを目的とした教材を開発し、LPI-Japanの公式WEBサイトにて無償にて公開、提供しています。これらは、多くの教育機関から、Linuxを体系的に学習するための教材や学習環境の整備に対する強いご要望をいただき開発したものです。

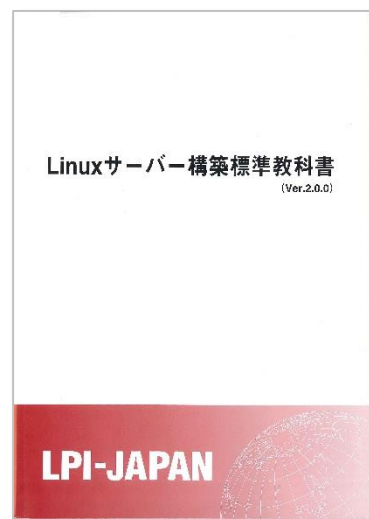
中でも、「Linux標準教科書」「Linuxサーバー構築標準教科書」「オープンソースデータベース標準教科書 -PostgreSQL-」については、高校・大学・専門学校・スクールおよび企業内研修などにおいて、LinuxやPostgreSQLを初めて勉強する学生や社員、およびそれを指導する先生、講師を対象に開発された教科書です。そして、これらの教育機関の授業用のテキストとして、初級者が利用できる内容となっています。

公開にあたっては、「Linux標準教科書」に添付されたライセンス（クリエイティブ・コモンズ・ライセンス）の下に公開されています。本教材は、最新の技術動向に対応するため、随時アップデートを行っていきます。

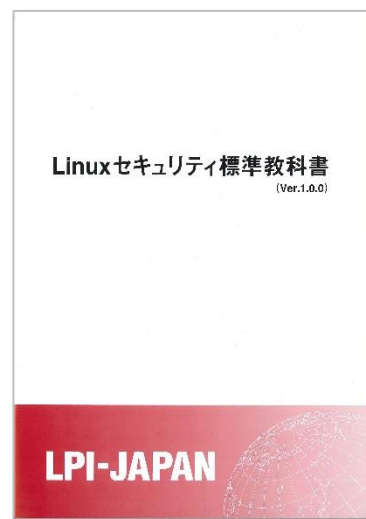
現在公開されている教科書は下記の5種類となります。 ※製本版(有料)のご用意もございます。



Linux標準教科書



Linuxサーバー構築
標準教科書



Linuxセキュリティ
標準教科書



高信頼システム
構築標準教科書



オープンソースデータベース
標準教科書

啓蒙活動 ～ITの仕事を紹介するセミナーの開始

将来の日本のIT技術を支えるエンジニアの卵が学ぶ教育機関で、「ITの実際の現場の仕事や職種を少しでも早く知ってもらうことで、技術習得のモチベーションUP、よりよい就職活動をしていただくために」、第一線で働くITエンジニアから、現場の話、それぞれの職種に関する講義を無償で実施。

実施先学校： 青山学院大学、大阪産業大学、ECCコンピュータ専門学校、総合電子専門学校、清風情報工科学院など

協力企業： LPI-Japanビジネスパートナー企業

内容： 各社(各人)30分ずつで、自社のサービス内容、自身の仕事内容の紹介、提案～開発・納品までの流れや、キャリア形成、仕事のやりがいや、大変なところ、休日の過ごし方までを講義。その後質疑応答。

オプション： 希望者には、採用選考へ進むチャンスもある。



特定非営利活動法人エルピーアイジャパン

〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-9

CR神谷町ビル 7F

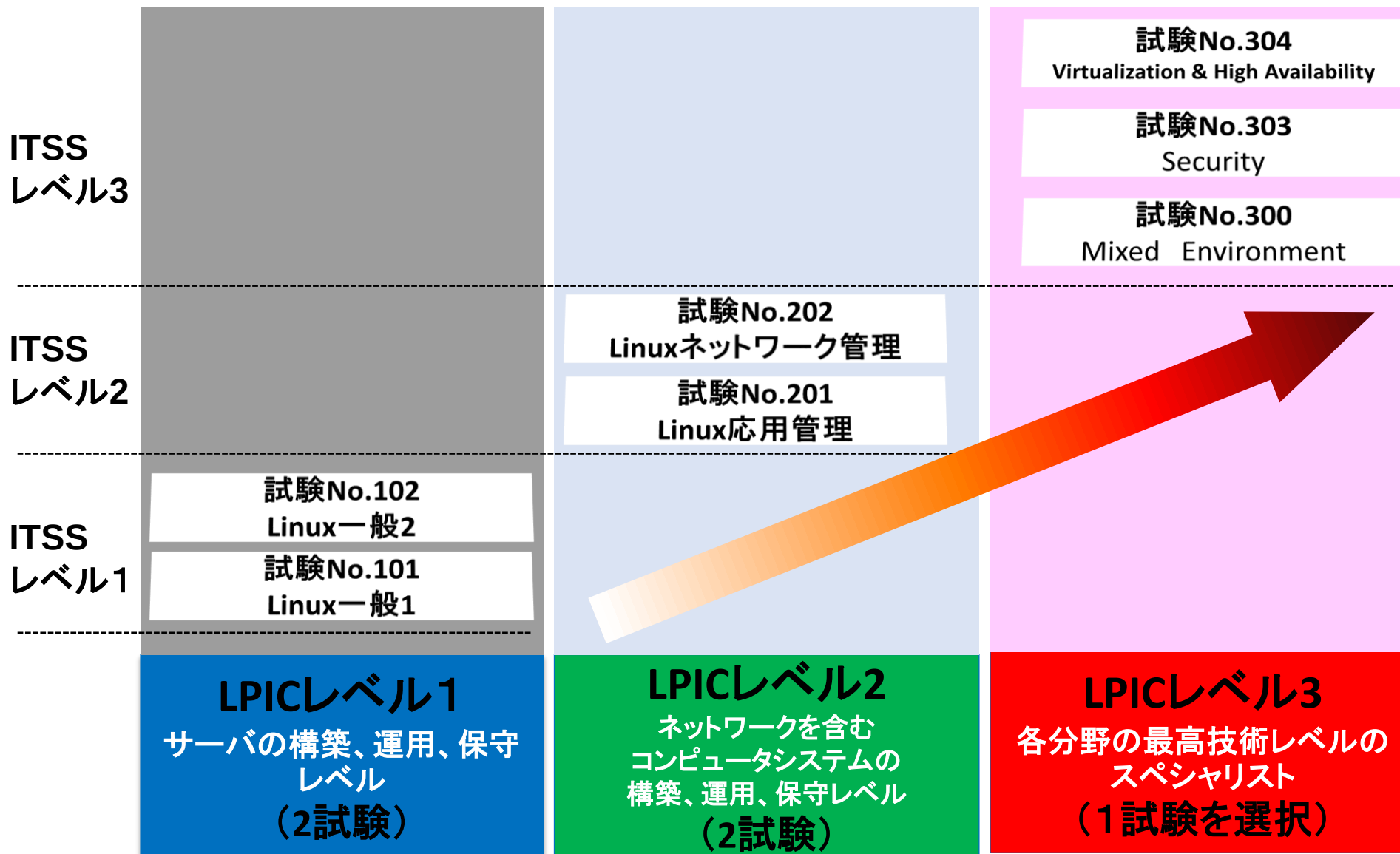
TEL : 03-3568-4482

FAX : 03-3568-4483

E-mail : info@lpi.or.jp



LPIC試験の構成と概要



LPIC試験の構成と概要

ITSS
レベル3

- Linux OS と関連技術を用いる I T 専門家の能力を認定
- 世界共通基準に従い、ディストリビューション中立
- 業務分析、サイコメトリックス (計量心理学) を活用し、3段階のレベル別に設計 (レベル1、2、3)
- 常に適切かつ高品質を維持

試験 No.304

Virtualization & High Availability

試験 No.303

Security

試験 No.300

Mixed Environment

いずれか選択

ITSS
レベル2

試験 No.202

Linuxネットワーク管理

試験 No.201

Linux応用管理

ITSS
レベル1

試験 No.102

Linux一般2

試験 No.101

Linux一般1

LPICレベル1

サーバの構築・運用・保守レベル

(2試験)

LPICレベル2

ネットワークを含むコンピュータシステムの
構築・運用・保守レベル

(2試験)

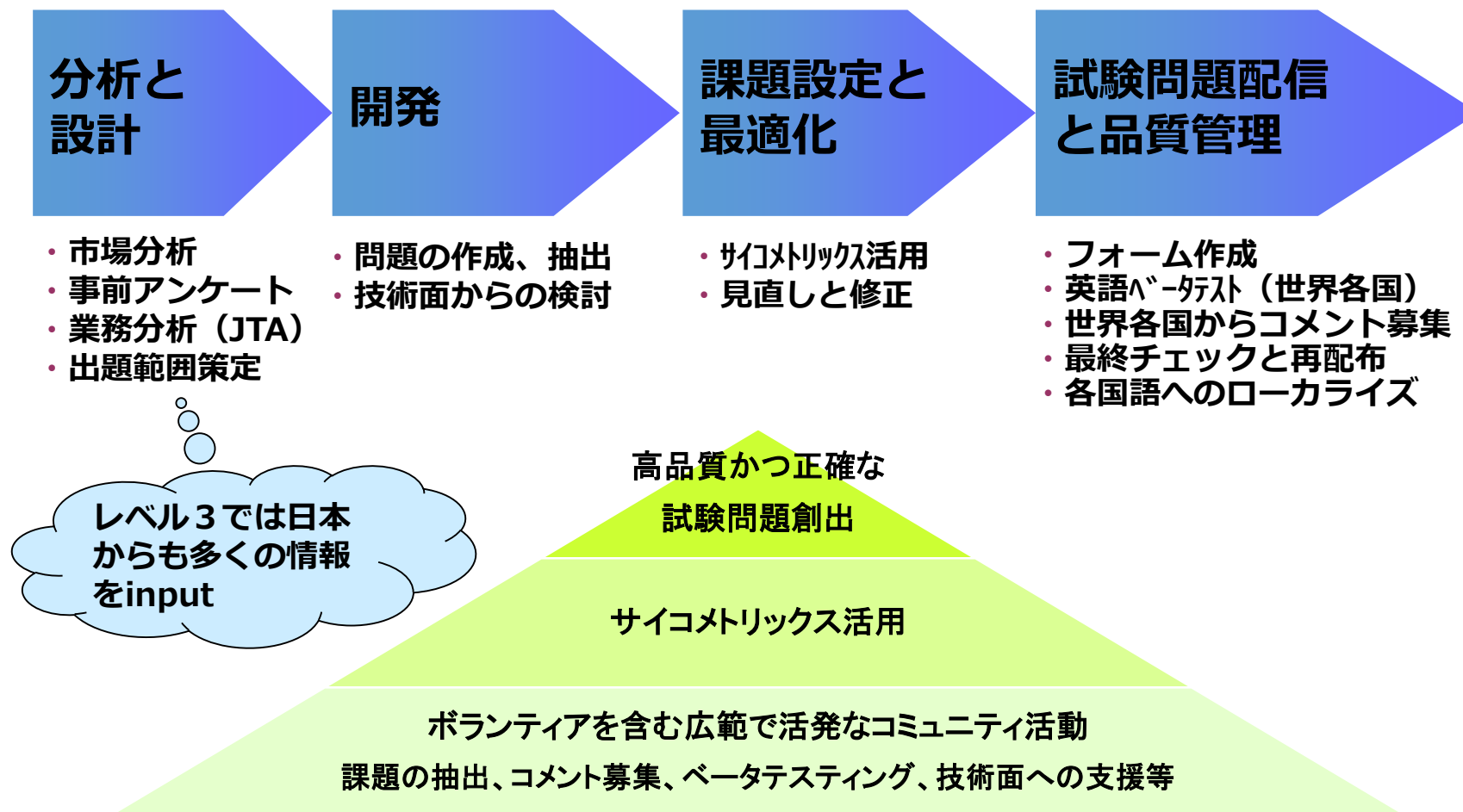
**LPICレベル3
Specialty**

各分野の最高技術レベルの
スペシャリスト

(1試験を選択)

LPIC試験開発のプロセス

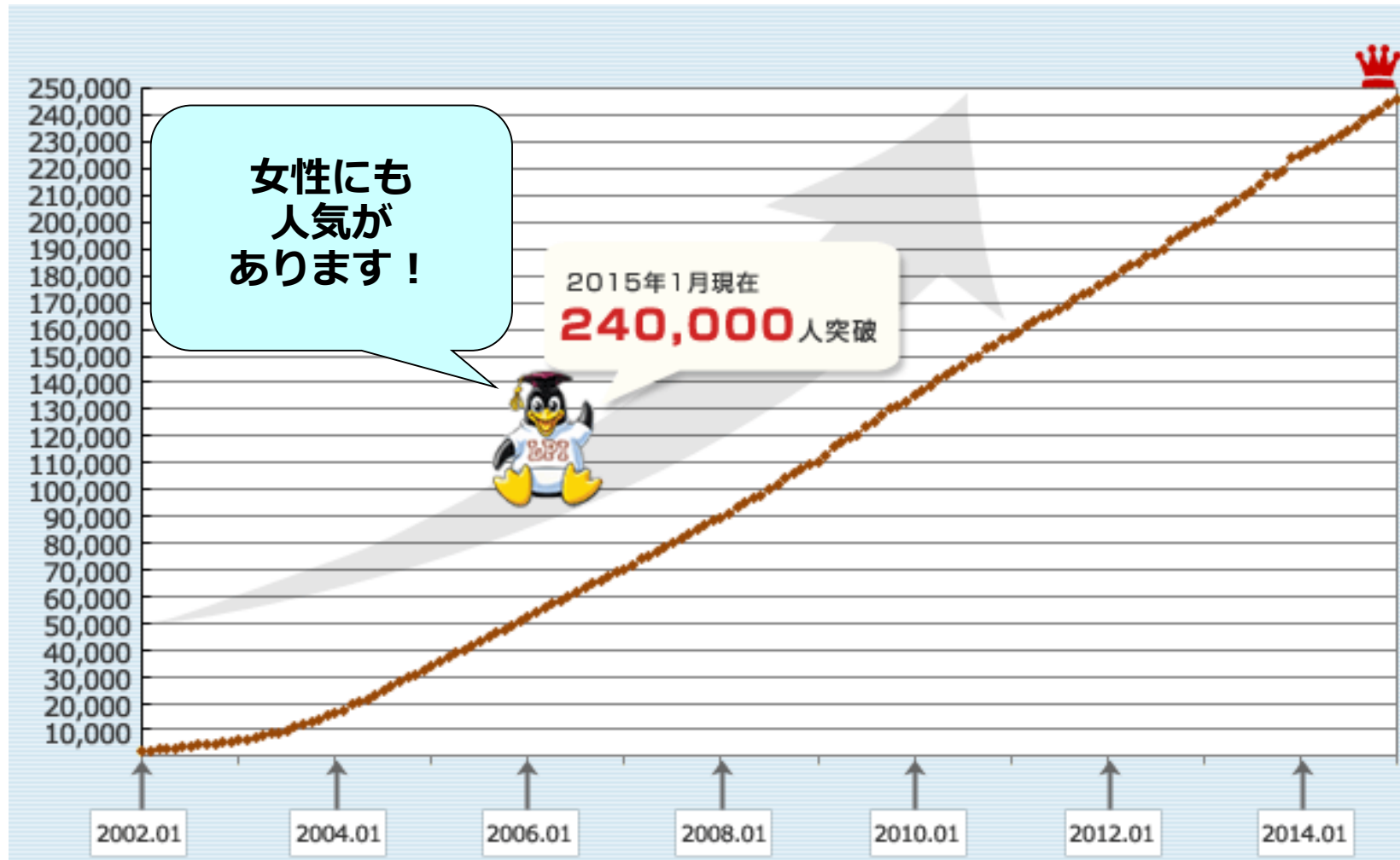
LPIC は開発プロセスもオープン



LPIC国内受験者総数

Linuxの普及により、LPIC受験数が伸び続けている

2015年1月現在



LPIC国内各レベル認定者数

日本における累計認定者数： **8万8千人を突破**

2015年1月現在



入札の事例

ウ) 民間資格等

1) 民間資格（ベンダーニュートラル資格）取得者でア）、イ）と同等以上のスキルがあると発注者が認めた場合は、ア）、イ）の資格を取得していなくてもよいものとする。スキル判断として以下の資格を取得していること。

- ・ PMP (Project Management Professional)
- ・ ITコーディネータ
- ・ LPIC (レベル1以上)
- ・ サーティファイ情報処理能力認定 (1級)
- ・ CompTIA認定資格
- ・ マスターCIW資格 (デザイナーを除く)
- ・ .com master (★★ (ダブルスター) 以上)

(1) スキル

- ①Linux サーバ、Windows サーバの操作が出来ること。
(LPIC の Level2 を取得可能な能力であること。)
- ②Linux サーバ、Windows サーバのログ解析能力を有すること。
- ③ネットワーク機器のログ解析能力を有すること。
- ④PC クライアントのログ解析能力を有すること。
- ⑤Apache、IIS、MTA ソフト等のログ解析能力を有すること。
- ⑥既知ではないアプリケーションであっても、情報を収集し対応できる能力を有すること。
- ⑦コミュニケーション能力を有すること。
- ⑧ドキュメンテーション能力を有すること。
- ⑨Linux サーバ、Windows サーバ、PC クライアント、office 系ソフトに詳しいこと。
(ヘルプデスク業務が可能なレベルを望みます。)
- ⑩IT を利用した業務について適切なサポートが可能なこと。
- ⑪IT 関連の広い知識を有すること。
- ⑫英語ドキュメントの理解能力や英会話能力が有ればなお可。

入札公告 東京空港整備事務所 LANシステム保守管理

独立行政法人 経済産業研究所 派遣労働者公募要項

入札の事例

(2) 要員に関する要件

下記に要員に必要な専門スキル要件を示す。

イ. オペレーティングシステム

運用作業者の全員がLPIC[®]レベル1以上の認定を受けていること。

調達仕様書
厚生労働省
職業安定行政関係
システム運用業務

企業でのLPIC採用例

例1) 富士通、NEC、日立の各社様

3社共に**人事制度の評価ポイント**に採用。

例2) NEC系ネットワークSIer様 (社員数6,000名)

毎年新入社員研修で全員がLPICレベル1を受験&取得。

例3) 株式会社ディー・エヌ・エー様

同社のビジネスの中核を支えるインフラエンジニアは、
LPICの取得が必須。DeNA唯一の社内推奨資格。



株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ
組込みシステム技術統括部
(掲載誌: 日経Linux 2014年8月号)



NECネットスエスアイ株式会社
(掲載誌: 日経Linux 2011年5月号)



株式会社ディー・エヌ・エー
(掲載誌: 日経Linux 2013年6月号)

企業・学校でのLPIC採用例

例4) 株式会社スカイアーチネットワークス様

お客様の大切なデータを護るサーバー管理のプロ集団。

事務職・営業職もレベル1取得必須。

エンジニアは入社2年以内にレベル2取得が必須。

例5) 医療ビジネス観光情報専門学校様

毎年1年生の3月にLPICレベル1を受験。

Linux/LPICの学習を通じて学習のモチベーションが向上。

認定者は資格取得を強みに内定獲得時期も早い。



株式会社スカイアーチネットワークス
(掲載誌:日経Linux 2014年1月号)



医療ビジネス観光情報専門学校
(掲載誌:日経Linux 2014年6月号)

ITSSキャリアフレームワークの中の位置づけ

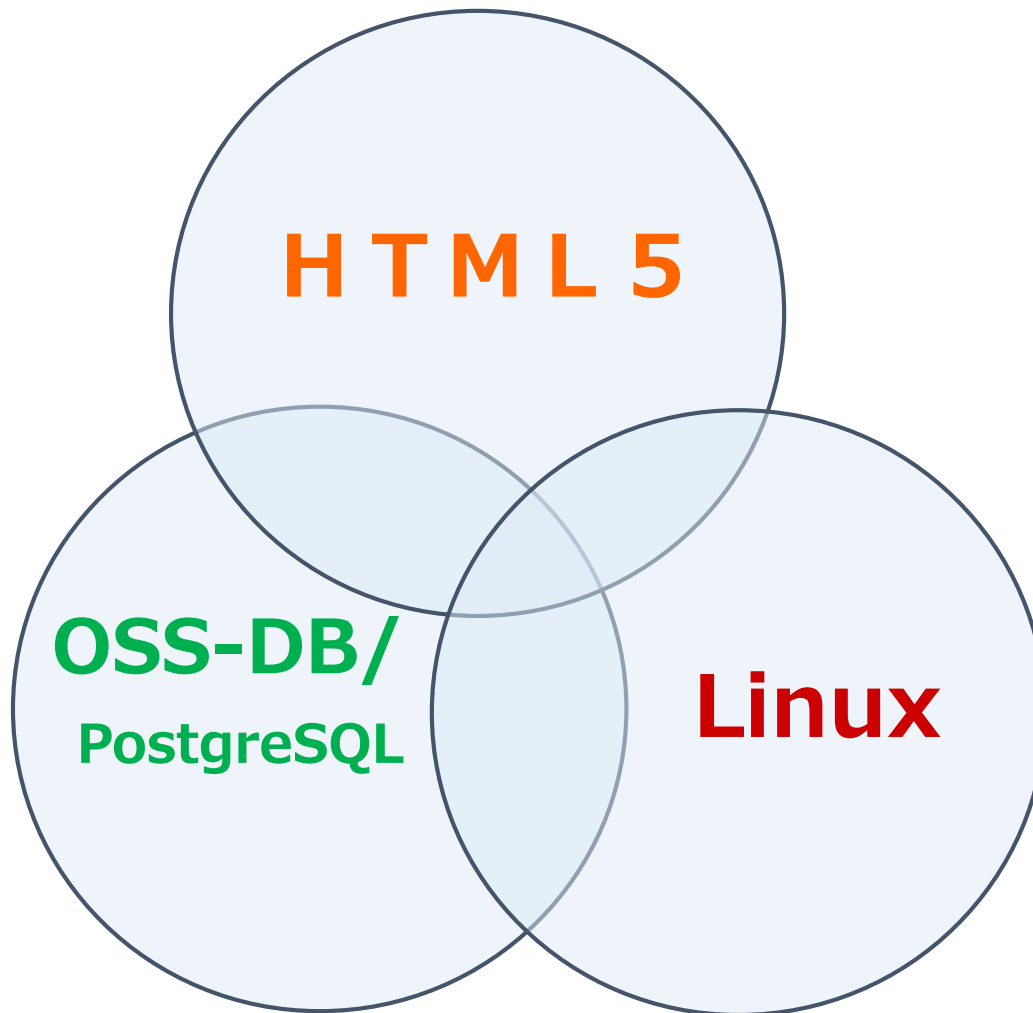
ITSSキャリアフレームワークと認定試験・資格の関係(ISV Map Ver8r1)において、下記のように位置づけられている。

	レベル	専門分野
LPICレベル1	レベル1	ITスペシャリスト (プラットフォーム・ネットワーク・データベース・アプリケーション 共通基盤・システム管理・セキュリティ) アプリケーションスペシャリスト (業務システム・業務パッケージ) ソフトウェアディベロップメント (基本ソフト・ミドルソフト・応用ソフト) カスタマサービス (ハードウェア・ソフトウェア) ITサービスマネジメント (運用管理・システム管理・オペレーション・サービスデスク)
LPICレベル2	レベル2	ITスペシャリスト (プラットフォーム・ネットワーク・データベース・アプリケーション 共通基盤・システム管理・セキュリティ) アプリケーションスペシャリスト (業務システム・業務パッケージ) ソフトウェアディベロップメント (基本ソフト・ミドルソフト・応用ソフト) カスタマサービス (ハードウェア・ソフトウェア) ITサービスマネジメント (システム管理・オペレーション・サービスデスク)
LPICレベル3	レベル3	ITスペシャリスト (プラットフォーム・ネットワーク・データベース・アプリケーション 共通基盤・システム管理・セキュリティ) ソフトウェアディベロップメント (基本ソフト・ミドルソフト・応用ソフト) カスタマサービス (ハードウェア・ソフトウェア・ファシリティマネジメント) ITサービスマネジメント (運用管理・システム管理・オペレーション・サービスデスク)

出典：

[http://www.ssug.jp/docs/isv/ITSS%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%83%95%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%81%A8%E8%AA%8D%E5%AE%9A%E8%A9%A6%E9%A8%93%E3%83%BB%E8%B3%87%E6%A0%BC%E3%81%AE%E9%96%A2%E4%BF%82\(ISV%20Map%20Ver8r1\).pdf](http://www.ssug.jp/docs/isv/ITSS%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%83%95%E3%83%AC%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%83%AF%E3%83%BC%E3%82%AF%E3%81%A8%E8%AA%8D%E5%AE%9A%E8%A9%A6%E9%A8%93%E3%83%BB%E8%B3%87%E6%A0%BC%E3%81%AE%E9%96%A2%E4%BF%82(ISV%20Map%20Ver8r1).pdf)

「サーバ技術+クライアント技術」の能力と「IT技術+コンテンツ系の能力」



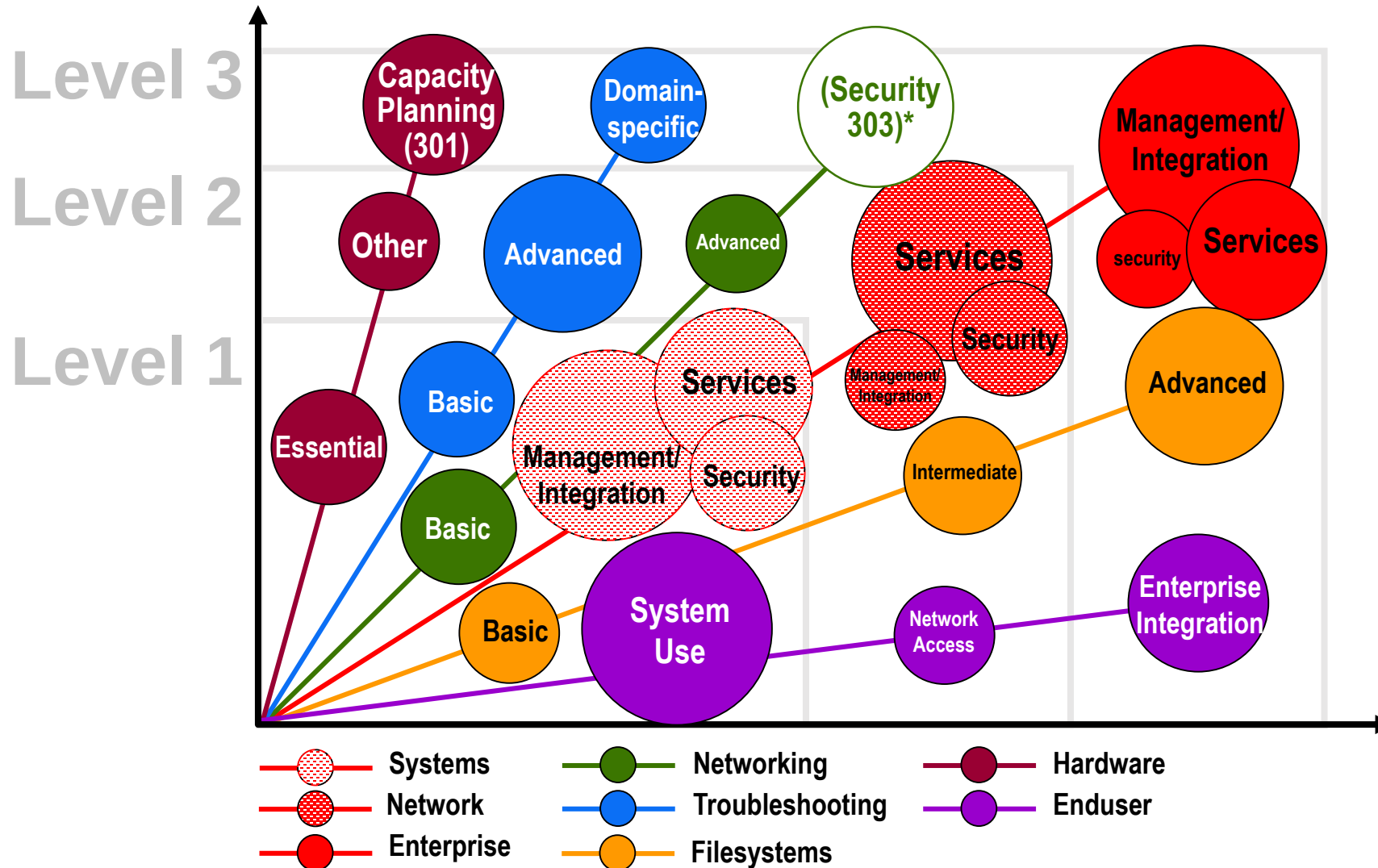
クライアント側

HTML5プロフェッショナル
認定試験

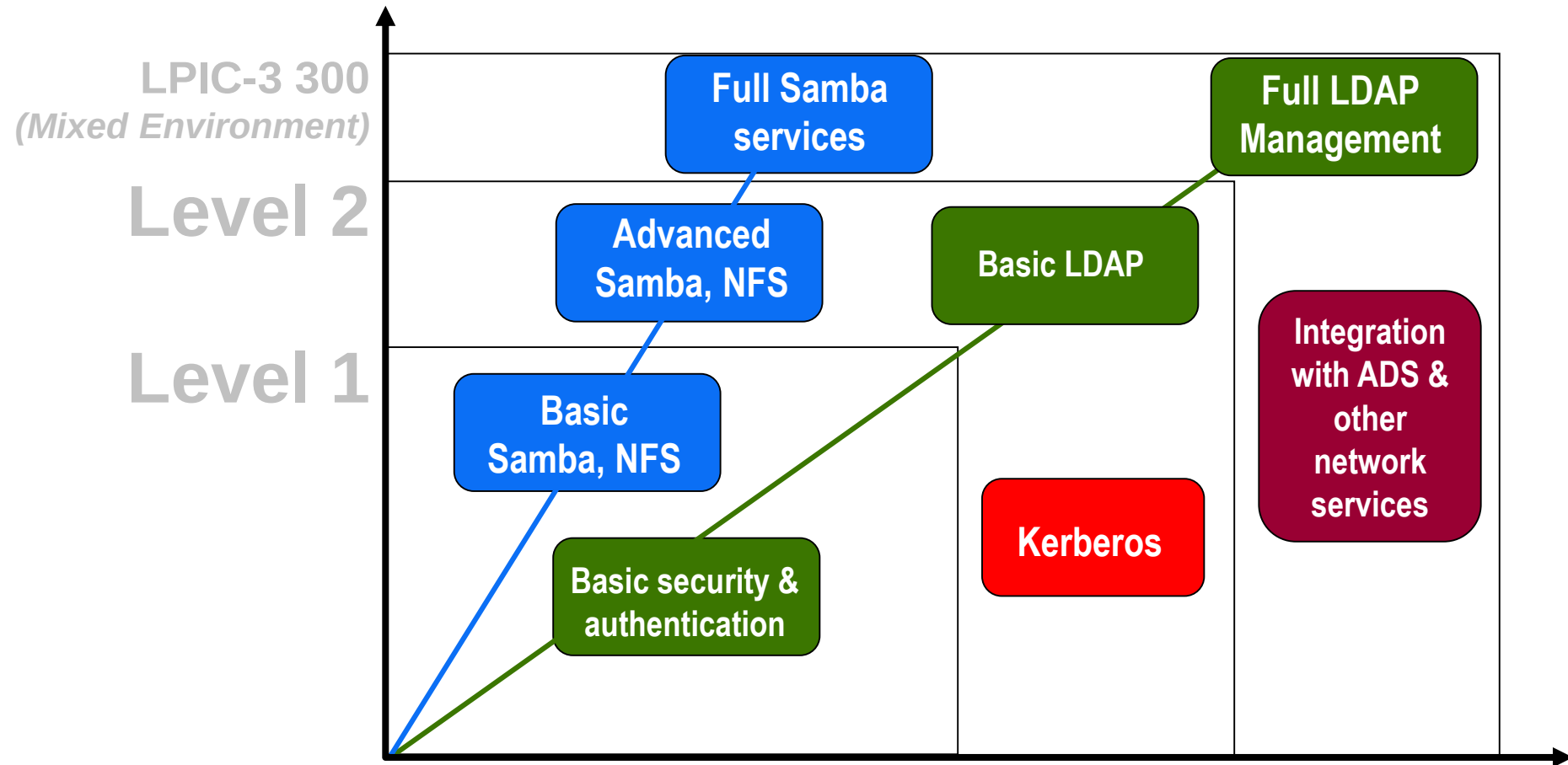
サーバ側

LPI C
OSS-DB技術者認定試験

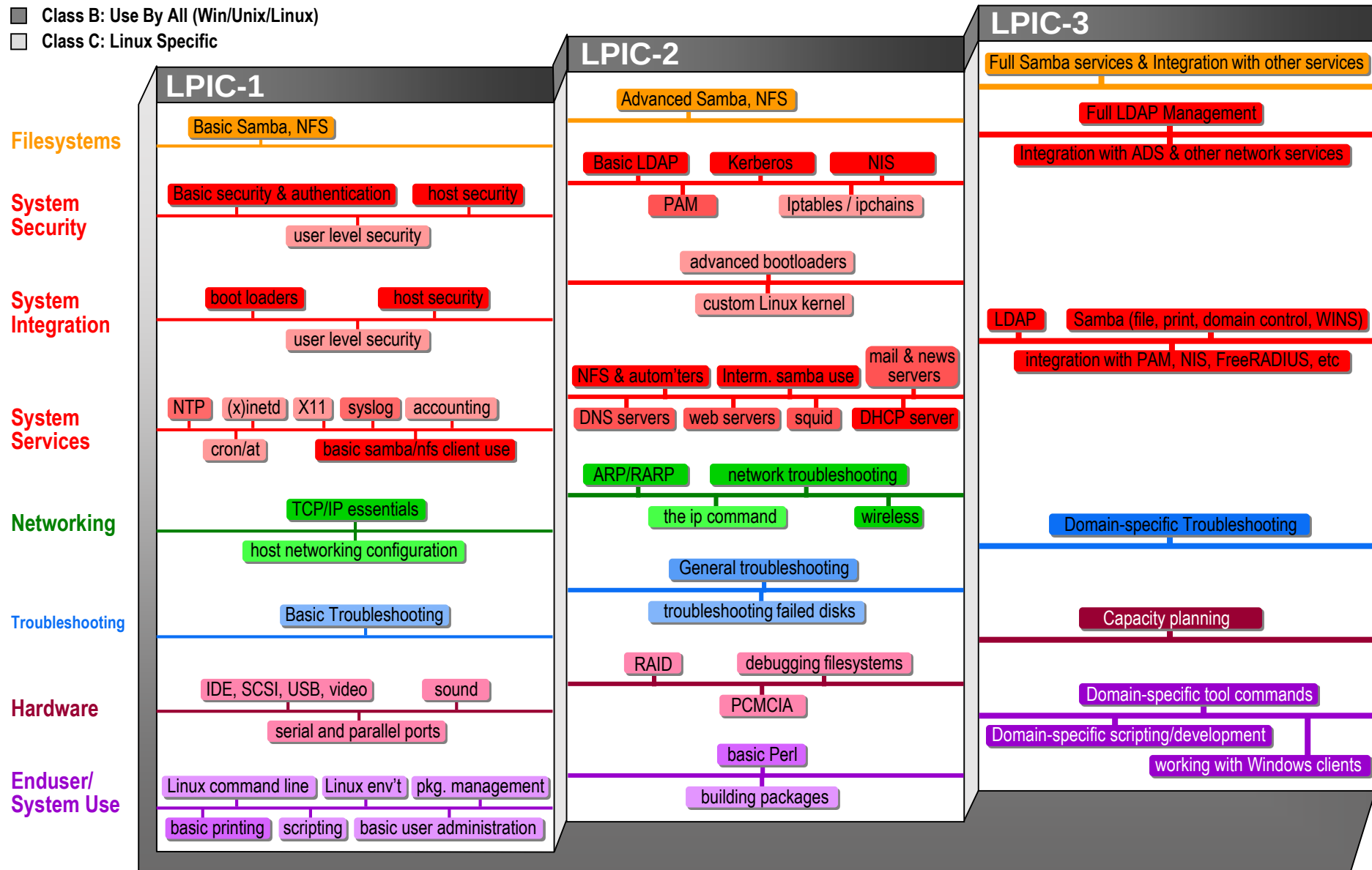
The LPIC Program



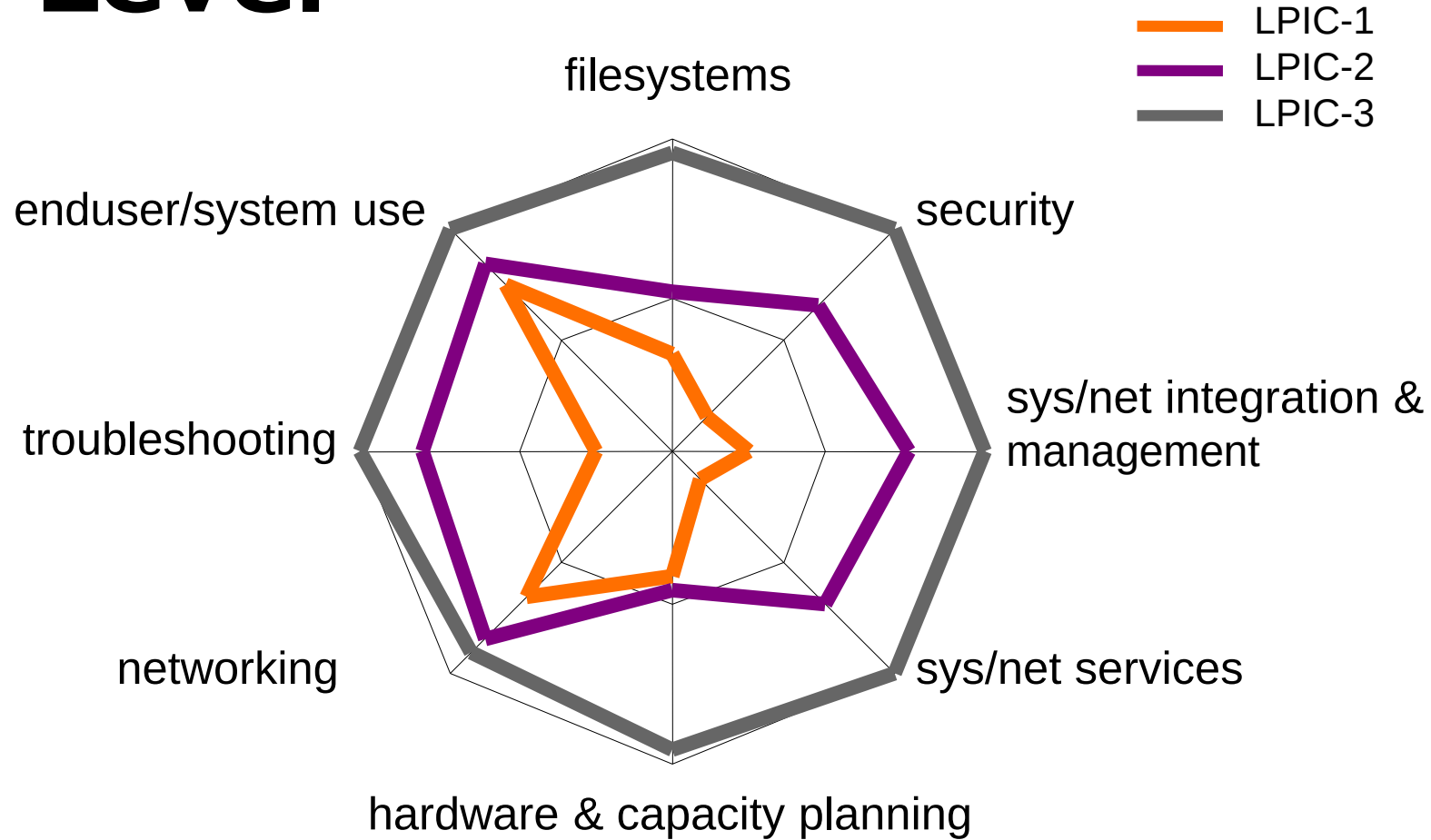
Use for Mixed Environment Integration



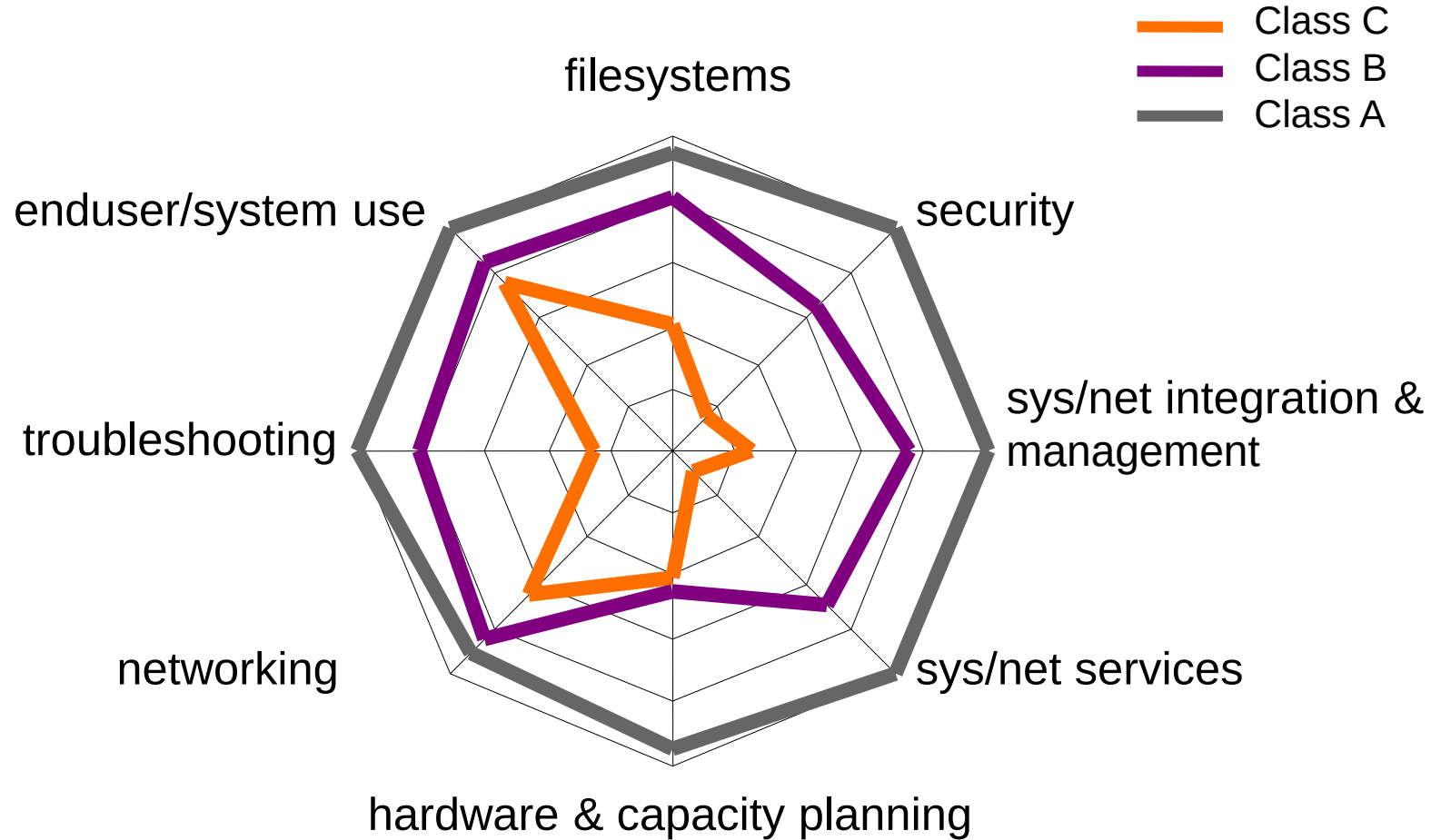
- Class A: Use To Integrate Mix Env
- Class B: Use By All (Win/Unix/Linux)
- Class C: Linux Specific



Exam Coverage by Level



Exam Coverage by Class





DrupalTM

DBCJ

Drupal Business Consortium in Japan

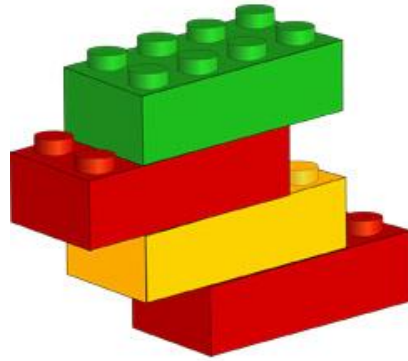
~自由な PaaS 環境を日本に~

2015. 01. 19.

池田 秀一

ikeda@lpi.or.jp

Drupal is a registered trademark of Dries Buytaert.



Drupal™ とは何か？

LEGO ブロックのように部品を組み合わせ、
企業の外部向け、内部向けサイト、情報系システムを
素早く、楽に作れる、システム構築での中核基盤です！

レゴブロックのようにビジネスロジックを組み立てる



”Working with Drupal is like building with Legos. Drupal and its modules provide the building blocks -- the basic rectangles, the windows. And someone with a bit of practice can do a very fine house.”

Drupal is Legos for Websites

<http://el-studio.com/blog/drupal-is-legos-for-websites.html>

Drupal での選択肢の豊富さ

2万個以上の豊富なアドオン部品が流通している！
200種類以上のテンプレートが流通している！

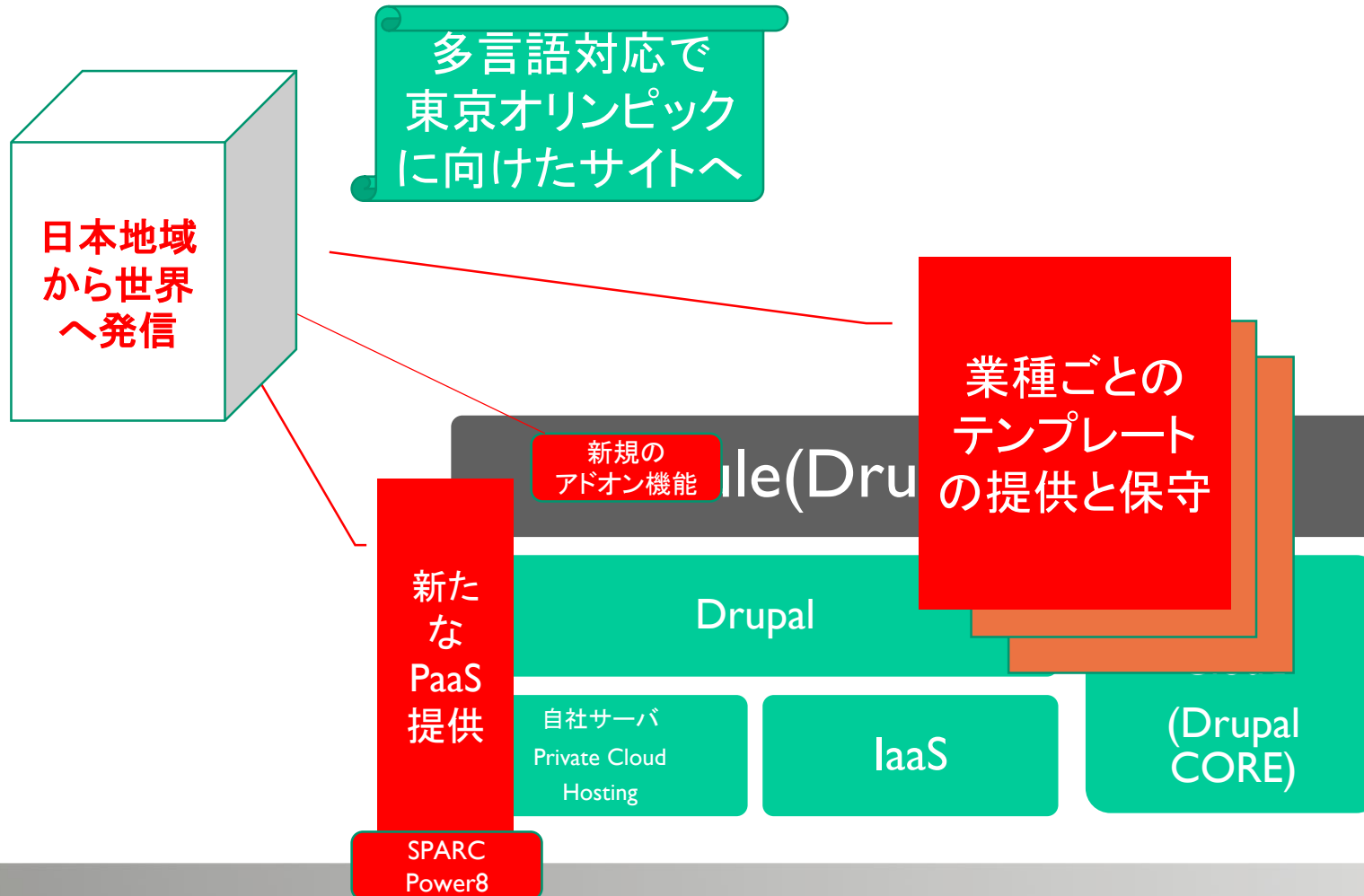
Module(Drupal Add-On)

Drupal

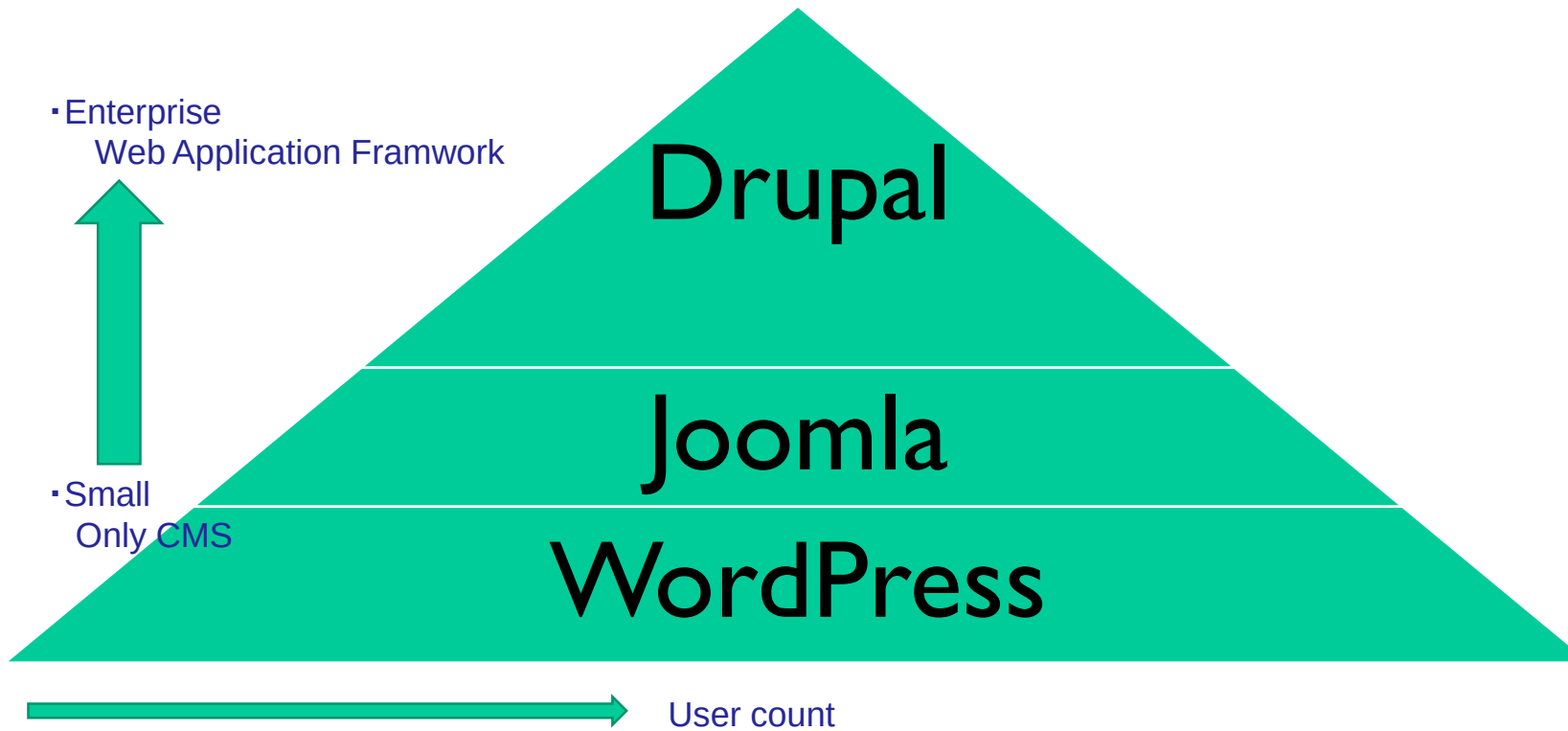
自社サーバ
Private Cloud
Hosting

IaaS/ OSS PaaS
AWS,Azure,SoftLayer

Drupal 基盤でのビジネス形態



World Wide Trend



Drupal ビジネスコンソーシアム 実績 & 予定

Drupal 関連広報

- 2014年9月2日以降に3回

Drupal 説明会

- 2014年9月9日、10月2日の DBCJ 説明会

Drupal ハンズオン勉強会

- 2014年10月31日、IBM SoftLayer 上での Drupal8 Beta ハンズオン
- 2014年11月26日、Microsoft Azure 上での Drupal8 Beta ハンズオン in マイクロソフト社@品川

美味しい技術「Drupal」？

海外で実績豊富な Web Application Platform であり、PaaS 中核となる

追加機能 (Module) が約2万個も流通している

100カ国以上の言語に対応 (※180カ国との情報もあるが言語ごとの品質？)

Ruby on Rails からの置き換えや、PaaS 基盤での利用 → 単なるCMSでない

複数RDBMS に対応しており、企業システムへ容易な適用、強固なセキュリティ

PHP ベースの OSS Enterprise CMS としても、多くの Award 受賞

ウォルト・ディズニー (1億ページ以上！)、ホワイトハウス、NASA など多数実績あり

国内でも、インプレス、国立国会図書館など

ディストリビューション企業やサポート企業が多い

コアディストリビューターとして Acquia 社

<http://www.acquia.com/>

欧米や東南アジアでも、サポートする企業が多数展開

<https://www.drupal.org/drupal-services>

美味しい技術「Drupal」？

2つの顔

1. 部品の豊富な開発環境 であり、PaaS 中核となる

競合するのは Ruby on Rails や SFDC、kintone

こちらを主に **DBCJ** としては推進していく

Web Application Framework として大手SIへ

2. 多言語対応、大規模対応の Enterprise CMS

(※従来から国内でも展開されていた市場分野): 既存 Drupal 開発企業向け

競合するのは、数千万円、数億円規模の商用CMS

HP Autonomy、SiteCore、Adobe CQ、etc

日本市場では浸透しない「Drupal」？

2つの過去の要因

1. 日本語対応が不十分で初心者泣かせ

Drupal version 7.x までは、インストール完了までは、英語のみ。
インストール完了後に日本語環境を設定する必要があった。
Drupal 8 からは、インストールの最初に日本語選択することで対応

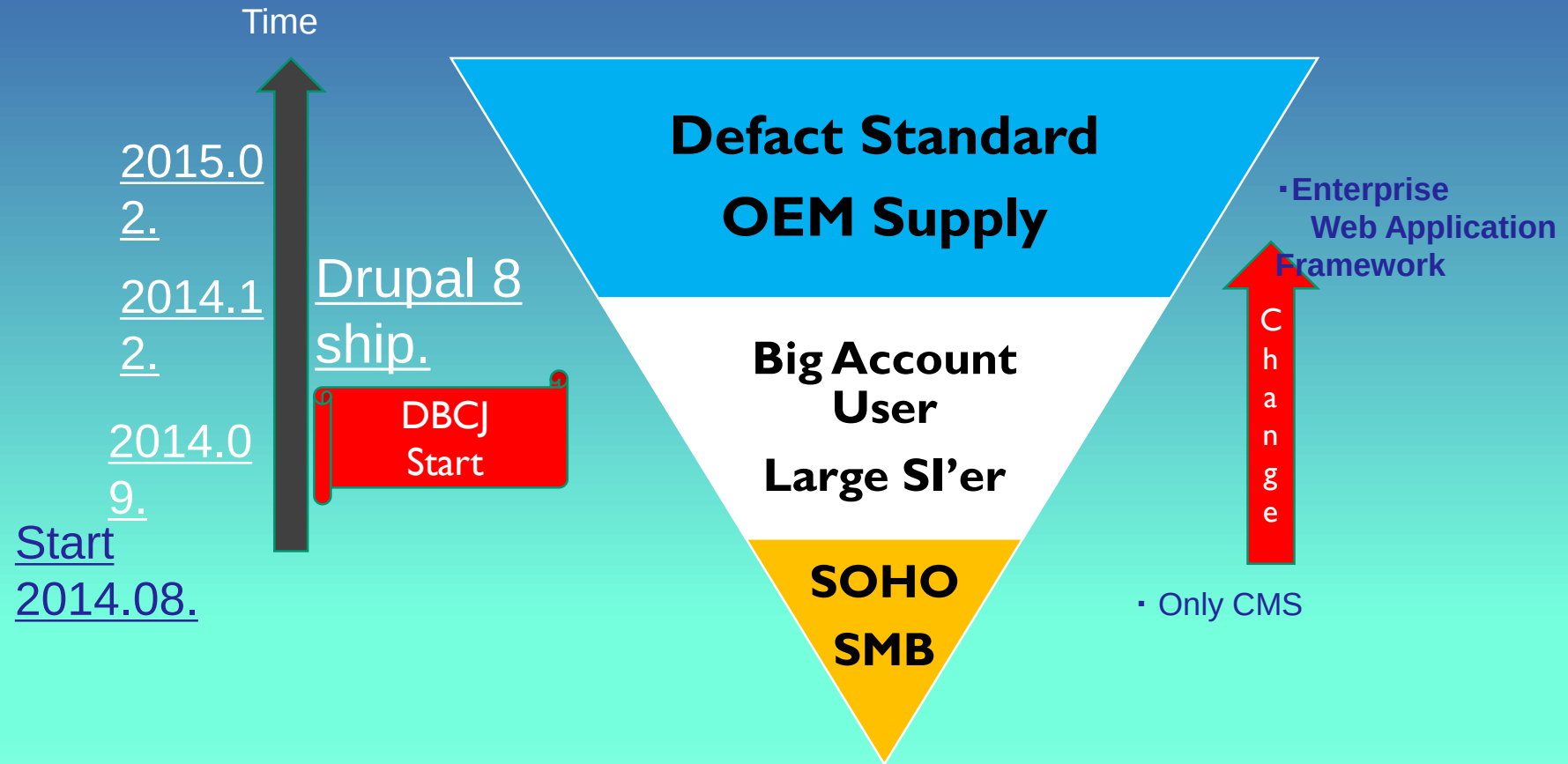
Drupal 8(現在ベータ版)では解決する！

2. 日本国内のコミュニティでの過去の内部抗争での開発者離反

Drupal version 6.x から version 7.x の頃(2011年前後)に、日本の開発コミュニティでの争いが顕著であり、多くの開発技術者が、他の PHP ベースの CMS などに移行してしまった。
開発者の多くが離反した為に、それに伴う日本語での技術情報の少なさ。

時間が解決してきているのと、Drupal 8で敷居が低くなる期待

Japan Drupal Market



企業システム構築の方向

既存システム



塩漬け



IaaS 上へ

新規開発



商用PaaS



OSS PaaS

選択肢としての PaaS

